令和３年９月１６日現在
島尻地区中学校体育連盟野球専門部

新型コロナウイルス感染症に係る大会実施ガイドライン

１　大会開催に関する基本対策

大会の開催に際しては、これまでスポーツ庁及び沖縄県から通知されたガイドライン等に基づき、以下の４つの項目について万全の感染症対策を講じた上で実施する。

（１）大会前、日頃の部活動での感染症対策（各学校の部活動感染対策）
（２）大会当日の感染症対策（チェックリストや競技運営上の感染対策）
（３）大会開催規模縮小した感染症対策（密集を避けるための感染対策）
（４）大会期間中、大会終了後の感染症対策（健康観察等による感染対策）

以上４つの項目への具体的な対策を下記の通り行う。十分な感染防止対策を行って大会運営を行うが、大会直前や開催中の感染状況（生徒の感染や県内・各地区の感染状況等）に応じて、大会を中止することもある。尚、本ガイドラインは今後の状況によって随時見直しを行う。

２　大会開催の具体的な感染防止対策

（１）大会前、日頃の部活動での感染症対策について

① 各学校の部活動感染対策に則り活動を行う。
② 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校を休み外出を控えてもらう。
③ 同居家族や身近な人に感染が疑われる場合は、速やかに学校へ連絡をする。その際は当該学校長の指示を受ける。
④ 大会２週間前から各チームにおいて検温を実施し記録を残す（学校で使用している健康観察シートを活用し提出）。⇒　各学校顧問（大会終了後１ヵ月保管する）顧問が状況を把握し、発熱等体調不良が続く生徒は参加をさせない。（判断は学校長、養護教諭と連携）
⑤ 大会に参加する生徒（登録選手、登録外選手）は保護者の同意書を必ず提出する。提出先　⇒　各学校顧問（大会終了後１ヵ月保管する）

（２）大会当日の感染症対策について

① 大会当日の朝自宅で検温等（風邪症状の有無）を実施　⇒　生徒本人で感染防止チェックリスト（生徒用）記入　⇒　保護者サイン　⇒　　顧問・引率教諭または保護者救護係へ提出（大会期間中は毎朝提出）⇒　各学校顧問（大会終了後１ヵ月保管する）

② 監督・引率責任者及び保護者救護係も健康状態申告書を提出。生徒のチェックリストを確認し体調不良者（発熱等）がいる場合は監督・引率責任者が保護者へ帰宅を依頼する。
（チェックリストは１ヶ月間保管する）
③ 生徒の会場への送迎は、できる限り保護者に依頼する。
④ 会場入りに多くの生徒が密集することを避けるため、試合開始直前（各競技によって異なる）に会場入りし競技終了後は速やかに解散するなどの工夫を講じる。可能であれば入退場口を

別々に指定する。

⑤ 競技会場出入り口において、手指消毒液の設置やマスク着用、こまめな手洗い手指消毒などの基本的な感染症対策を徹底する。競技中のマスクについては着用をしなくてもよいが、ベンチ控えの生徒へはマスクの着用を各チーム監督へ依頼する。但し、熱中症の恐れがある場合はマスクを外すことも認める。

⑥ 屋内競技では密閉空間を避けるため、常時入り口や窓を開放し競技運営をする。競技の特性上、常時開放することが厳しい競技については定期的（３０分に１回程度）に窓を開け換気を行うように計画する。

⑦ 可能な範囲でベンチエリアを広げ、控えベンチを広く設置する。各ゲーム終了後にはベンチの消毒を行い、ベンチも元の位置に戻す。

⑧ 更衣室等の利用にあたっては、できる限り使用を遠慮してもらい、使用する場合は窓を開放して換気し短時間の利用とする。また一斉に利用しないなどの人数制限をする。

⑨ 手洗い場所には石けんを常備し、手洗いの推奨を行う。

⑩ トイレはふたを閉めて汚物を流すなどの指導を行い、定期的な消毒を行う。

⑪ 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話を控える。また、会場では大きい声で会話や応援をしない、他の参加者、競技役員と距離をとる（できる限り１ｍ～２ｍ以上）

⑫ ミーティングを行う場合は、屋外で行い時間短縮や回数等も最低限度に減らす。

⑬ ボトル等の共用は禁止し個人で準備させる。（水分補給時のコップ、スクイズボトル、タオル）また、競技で使用する用具等については使用前後に消毒を行う。

⑭ 各自（各チーム）ゴミの持ち帰りを徹底する。また、ゴミを回収する際はマスクを着用し、回収後は手洗いを十分に施す。

⑮ 飲み残しの廃棄場所（手洗い場等）を指定し、指定場所以外で捨てないように注意する。

⑯ 大会期間は１時間に１回をめどに多くの人が触れる場所（ドアノブ、トイレ等）の消毒を行う。

⑰ 各競技場において上記①～⑯が守られているか定期的に巡回し、注意喚起を行う。

（３）大会開催規模を縮小した感染症対策について

① 開閉会式を行わない。各競技の開始式、身なり確認等も中止とする。（優勝旗返還・選手宣誓なし）閉会式は順位発表とチーム代表者に対して（中体連役員、校長、専門部長等からの）表彰のみ行う。※身なり等は各学校でしっかり対応し大会参加させる。

② **会場への出入りは、部員、保護者のみとし、保護者の観戦は各チーム登録メンバー２０×２=４０名を上限とする。各校で発行した観戦許可証を首からかけること。**
人と人との距離を十分に確保できること（できるだけ２ｍ）

※大会主催者（役員）、共催者（所属長）、学校長、学校職員（写真係）、アルバム担当業者報道関係者は上記の制限数には含まない。

※大会開催中であっても観戦マナーや各競技専門部が設定した入場制限（優先順位）を遵守できない場合、各地区の感染状況や 3 密対策が困難な状況がある場合は無観客試合に変更になることもある。

③ できるだけ正規のルールで行うが、密接、密集が回避できない競技については、競技方法の工夫（時間短縮・セット数、点数など）を行う。

（４）大会期間中、大会終了後の感染症対策について

① 大会に参加したが、途中で風邪症状や高熱が出た場合には、会場入りした他の監督・引率責任者と専門部へ連絡し、生徒の症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を整える。

② その他の体調不良者（熱中症等）については、監督・引率教諭から専門部に報告し、専門部長は救急搬送が必要と判断した場合は救急車を要請する。専門部長は救急搬送後に地区中体連理事長に連絡をする。

③ 体調不良の生徒に対しては、監督・引率教諭が保護者へ連絡をし帰宅する。
※監督・引率教諭は保護者といつでも連絡が取れる環境を作る。（事前に携帯登録等）

④ 顧問・引率教諭は常に生徒の健康観察を行う。

⑤ 宿泊を伴う大会参加者については、寝具を極力離して就寝するように指導する。また、部屋の窓も開け、常に換気を行うように併せて指導も行う。（できるだけ個室が望ましい）

⑥ 宿泊を伴う大会参加者で、大会当日に風邪症状があった生徒・監督・引率教諭は、宿泊場所で待機をする。

⑦ 引率者は参加者の移動記録のため、保護者以外の送迎車やバス、船や飛行機利用の際の座席や移動方法等の記録をしておくこと。

⑧ 大会終了後２週間以内に息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・高熱等の強い風邪症状がある場合は、速やかに学校長へ連絡すると共に、島尻地区中体連へも連絡する。

３　その他

（１）生徒の肖像、権利保護のため 試合中の写真撮影および動画撮影は個人での利用を目的とした場合に限り可能です。

※個人での利用以外のメディア掲載やＳＮＳ利用を目的とした写真撮影・動画撮影については、個人および学校の許可が必要です。

４　熱中症対策

（１）暑さを避ける、適宜マスクをはずす（屋外は２ｍ以上の距離確保でマスクはずす）

（２）こまめな水分補給（ＯＳ-1 準備）、ＡＥＤの設置場所確認

地区大会参加者【引率職員、生徒、保護者等】の提出書類等

（１） 島尻地区中学校体育連盟野球専門部のガイドラインを熟読し確認する。・・・（職員、生徒、保護者等）

① 様式１：大会前２週間の体調記録参加生徒→部顧問　生徒以外の大会参加者→各自で保存

② 様式２：学校同行者体調記録表（チーム登録者用）・・・部顧問→大会本部

③ 様式３：参加同意書・・・参加生徒→部顧問

④ 様式４：応援者（保護者等）体調記録表・・・父母会→大会本部

【許可証の発行】

〇保護者【入場許可証】（屋外会場の入場者）Ａ４サイズ８つ切りカード

〇学校職員【撮影係】A5 サイズ許可証　　⇒　首にかける（学校で準備）

●報道関係者、アルバム業者等　ＩＤカードを各自持参、首にかける

※上記の様式は（各学校必要枚数準備、島尻地区野球専門部ＨＰよりデータをダウンロードして作成すること）